島根県看護協会
松江支部だより
しののめ
Vol.77
2022年 9月
島根県松江市西津田8丁目8-8
松江生協病院
TEL（0852）23－1111
発行責任者 出來弘恵
会員数 1,945名（8月28日現在）

令和４年度の支部活動

松江生協病院 出來弘恵

爽秋の候、会員の皆様には平素より看護協会松江支部活動に御支援・御協力を賜り心より御礼申し上げます。

今年度支部総会は、新旧役員のみで開催しました。事業計画に関しては５月「しののめ」に掲載しておりますが、現在新たに「進学ガイダンス」への取り組みを進めています。

進学ガイダンスは「看護のこころ」普及事業で、島根県からの委託により島根県看護協会が企画運営を行っている事業です。県内の高校生に対し、看護職についての理解を深め進学促進を図り看護職員確保を目的としています。

この事業に協力したいと思い昨年度からガイダンスの見学を開始し、８月に初めて支部役員が講師をさせて頂きました。

看護職を目指す高校生と接することで、看護職としての誇りや責任感も感じることができました。今後もナースセンターと連携をとり、支部活動として定着させたいと思っています。

今後も会員の皆様からのご意見を頂きながら活動を行ないますので、御支援をお願い致します。

急激なコロナ感染者増加により大変な状況下ではありますが、くれぐれもご自愛くださいませ。

先輩看護師から看護職についてお話

実技体験 楽しく笑顔いっぱいに

［参加者］左より 看護協会ナースセンター：内田真弓
松江支部役員：前田由紀子
先輩看護師：布野かえで
松江支部役員：出來弘恵

令和４年度松江支部総会報告

◆日時：令和４年６月25日（土）
10時～11時

◆場所：島根ソフトビジネスパーク
テクノアークしまね 特別会議室

新型コロナ感染拡大をうけて規模を縮小し役員のみで令和３年の事業報告と決算報告、令和４年度の事業計画と予算について報告を行いました。

島根県看護協会の秦美恵子会長から松江支部宛に動画にてご挨拶いただきました。

新人看護師紹介

地域医療機能推進機構 玉造病院　看護師　**永　田　江梨花**

私は、令和4年4月からJCHO玉造病院で看護師として勤務しています。入職して4ヵ月がたち、職場にも慣れ、プリセプターや日々の指導者からご指導頂きながら業務に励んでいます。

私は、地域包括ケア病棟に配属になりました。この病棟は、急性期の治療が終了後すぐに在宅や施設などに退院することができない患者さんに、リハビリを中心に退院に向けた支援をしています。慢性的な内科疾患から整形外科、歯科・口腔外科の周手術期看護、レスパイト入院の受け入れなど幅広く携わっています。入院時から退院後の生活を見据えながら多職種で日々カンファレンスを行い、より良い看護が提供できるよう取り組んでいます。

日々の業務の中で、まだできないことも多くあり戸惑うこともありますが、患者さんから感謝の言葉を頂けたときや元気に回復し退院される姿を見ると、看護師として働くことにやりがいを感じています。

これからも自分の長所である笑顔を忘れずに、日々学ぶ姿勢を持ち、患者さんに安全・安楽な看護を提供できるよう努力していきたいです。

安来市立病院　看護師　**三　鴨　　由**

今年の4月から、安来市立病院3階病棟で看護師として働いています。今年度は新卒看護師としては1人であり、入職当初は多くの不安がありましたが、先輩方がいつも気にかけ声をかけて下さることで私自身も不安無く業務に従事することが出来ています。また丁寧な指導、アドバイスをしてくださり日々学ぶ事が出来、毎日成長していけるよう自己研鑽に励んでいます。

3階病棟は急性期病棟であり、内科、外科、整形外科などの診療科を担う病棟です。緊急入院や手術のための入院などにより、不安な思いを抱えておられる患者様がおられます。安心して入院生活、退院後の生活を送ってもらえるよう、患者様の思いを傾聴し、個別性に合った看護を提供していくことを心がけています。また日々看護を提供していく中で、患者様から「また来てね」「ありがとう」と笑顔で言葉をかけてもらえることが私自身の励みとなり、もっと頑張ろうと思うことが出来ます。

看護を行なう中で、知識が不十分であること、わからないことも多くありますが、一日一日を大切にし、多くの経験を積み患者様の力になっていきたいと思います。また日々学習し学ぶことも大切ですが、患者様の安全、安楽を考え患者様に信頼してもらえるよう、笑顔で接することを忘れること無く頑張っていきたいです。

ご存じですか？　あなたのキャリアアップを応援します

キャリナースに登録お願いします。
QRコードで簡単アクセス！

キャリナース

キャリア構築を支援する会員おひとりおひとりの専用ページです。
ユーザー登録すると会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になります。また、文献検索や各種資料など看護業務に役立つ魅力的なコンテンツもご覧いただけます！　住所変更なども可能です。 是非登録して活用してください。

＊日本看護協会または島根県看護協会のホームページからアクセスできます。

新人研修　新人看護職研修「育み育まれる」

松江赤十字病院　教育研修推進室師長　八　澤　京　子

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の未だ終息が見えない中、今年も新人看護職員（以下、新人）を仲間に迎え４ヶ月が過ぎようとしています。

今年迎えた新人は、学生時代に臨地実習が十分に経験できなかった人が多く、少なからず不安を抱えていますが、新しい学びの時代で鍛えられた想像力や思考をまとめる力を強みとして、現在コロナ最前線で活躍してくれています。

当院では毎年、新人看護職員研修として約５０項目の講義や演習と共に８ヶ月間、複数の部署で業務経験をするローテーション研修を行っています。コロナが流行してからは、講義や演習方法を急遽変更することもありますが、新人のみならず、管理者や指導者、スタッフの理解もあり柔軟に対応してもらっています。特にコロナ禍の研修では、従来の看護技術経験はもちろんですが、同期同士のコミュニケーションとメンタルサポートも大切にしています。最近では、職員同士のコミュニケーションもなかなか自由にできなくなりました。定期的に行う新人研修の場を通して、学びを深め、お互いの辛さを共有し、励まし合い、癒しの場

になってくれると良いと考えています。今年からは教育専従者とリエゾンナースによる面談も定期的に実施しています。

最近の新人は、感染拡大に伴う急な体制の変更が生じた際でも、臨機応変に対応できるくらい頼もしく成長しておられます。本人の努力はもちろんですが、新人を支える部署の支援力も大きな力だと感じています。コロナ禍の生活はまだ続きそうですが、「育み育まれる」組織風土で看護職一同、乗り越えていきたいです。

新人研修　多職種と協力して育成しています！

松江生協病院　教育担当者　佐　藤　理　絵　・　増　田　真　美

松江生協病院では今年度、１５名の新人看護師を迎えました。当院では新人看護師の育成において、月１回集合研修を行い１年かけて技術習得や看護過程などの学習を行っています。５月２８日に講師に臨床工学技士と臨床検査技師を招いて、心電図や輸液ポンプなど医療機器の取り扱いについて研修を行いました。臨床検査技師の講義の後、５名ずつのグループに分かれて１２誘導心電図、モニター心電図、輸液・シリンジポンプの３ブースを順に周り、実際に機器に触れ、正しい取り扱い方法を講師から学びました。

コロナ感染拡大のために４月に予定していた採血などの技術研修が急遽中止となり、今回の研修が入職時研修以来の新人看護師全員が集合する場になりました。それぞれ講師に積極的に取り扱いについて質問したり、新人看護師同士で確認し合ったりする様子が見られました。演習の合間ではグループをこえて笑顔で交流も出来ていました。

研修生からは「今後使用していく医療機器を、実際に指導を受けながら触れてみることでただ説明をうけるより身になる研修だった。」「輸液ポンプやシリンジポンプを使うことが殆どなく、心電図モニターを自分で操作したことがなかったので操作方法を覚えることができた。今回の研修でのポイントを踏まえて自分でも勉強し、実際の看護に活かしていけるようにしたい。」という感想もあり、引き続き感染対策に取り組みながら、集合研修を開催していきたいと思います。

職場紹介 「松江市立病院の緩和ケアチームをご紹介します。」

松江市立病院　緩和ケアチーム　がん看護専門看護師　米　村　智　子

チームメンバーは、緩和ケア医、精神科医、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師、薬剤師、栄養士、リハビリセラピスト、MSW、心理士にて構成されています。

皆さんご承知のように、緩和ケアは人生最期のためだけの医療ではなく、病と診断された時からサポートが始まります。当院緩和ケアチームでは、患者さんとご家族のつらさを和らげ、“その人らしく過ごせるための支援”をコンセプトとしています。

つらさを抱える患者さんについて、毎日病棟からSOSの連絡をいただきます。その人らしく過ごせるように、私はチーム活動の中で大切にしていることがあります。それは、“共に考える姿勢”です。これは、つらさを和らげる道筋を、患者さんと共に諦めず模索すること，だと思っています。例えば、「痛み止めで少しでも長く座れるようになって、好物を食べられることを目標にしてみませんか？」といったように、その人の価値観に合わせた目標を話し合い、日々チームメンバーと奮闘しています。

そしてまた、忘れてはならないのが、現場のスタッフの方々と共に考える姿勢だと思っています。緩和ケアチームだけでは、患者さんの安らげるひとときを作ることは困難です。ラウンド時やカンファレンスの際には、病棟スタッフの困りごとを拾い上げながら、患者さんのケアについて話し合いを積み重ねています。

当院で、私たちチームとタッグを組み、その人らしい過ごし方ができるような緩和ケアを模索していきませんか？

「令和4年度の第1回研修会」について

＊日　時：令和4年11月12日（土）　10時00分～12時00分
＊場　所：テクノアークしまね 大会議室
＊テーマ：「看護職が行うグリーフケア、心に寄り添うグリーフケア」
　　悲しみから立ち直り生きるために、私たちができること
＊講　師：吉本　歩 先生〈松江市立病院　がん専門看護師〉
◎ 新型コロナウイルス感染防止対策の観点から対面式とZOOMでの開催予定です。
◎ 詳細については別途お知らせをご確認下さい。

令和4年度 松江支部役員

《今年度のメンバーです。よろしくお願いします。》

役職名	氏名	所属
支部長	出來弘恵	松江生協病院
副支部長	西　明美	島根県健康福祉部健康推進課
副支部長	米山恭子	安来市立病院
書記	園山麻希	松江生協病院
会計	武田知江	松江赤十字病院
役員	前田由紀子	国立病院機構松江医療センター
役員	勝部喜美子	松江市立病院

役職名	氏名	所属
第1班 班長	佐藤良介	島根県総務部人事課福利厚生室
第2班 班長	瀬田かおり	松江赤十字病院
第3班 班長	東堤慶子	松江市立病院
第4班 班長	布施道代	国立病院機構松江医療センター
第5班 班長	景山康子	介護医療院　虹
第6班 班長	矢田めぐみ	地域医療機能推進機構玉造病院
第7班 班長	福島菜穂子	安来第一病院

編集後記

コロナ禍で感染対策しながら、そしてこの残暑が続く中でみなさん水分や休息をとりながら日常生活をされていらっしゃると思います。この「しののめ」を見て頂きありがとうございます。みなさんが、それぞれの部署で頑張られている姿に力をもらいました。今年度から新メンバーで広報を担当させていただきます。よろしくおねがいします。